

会社の概況

商号 株式会社ミマキエンジニアリング

設立 1975年8月 資本金 43億5,746万円

コンピュータ周辺機器及び 事業内容

ソフトウェアの開発・製造・販売

従業員 連結1.986名/単体835名

役員一覧

代表取締役社長 池田 和明 専務取締役 竹内 和行 常務取締役 三宅 洋 羽場 康博 取締役 清水 浩司 牧野 成昭 古平 武史 社外取締役(常勤監査等委員) 善野 洋 田中 規幸 取締役(監査等委員) 社外取締役(監査等委員) 田中 誠 社外取締役(監査等委員) 荒井 寿光 社外取締役 蓑毛 誠子 山田 一郎 社外取締役

会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

株主メモ

1水土ノ・こ			
事業年度	4月1日から3月31日まで	郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヶ月以内		
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日	公告方法	当社ホームページ(https://ir.mimaki.com/) に掲載いたします。ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
	その他必要があるときは、あらかじめ	上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
	公告して定めた日	証券コード	6638
単元株式数	100株		

TEL 0120-232-711 (通話料無料)

携帯電話やスマートフォンをお使いの方は 右のQRコードからもアクセスできます。

アクセスはこちら

https://ir.mimaki.com/

Facebook https://www.facebook.com/mimakiengineering/

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

株式の状況

発行可能株式総数 128,160,000株 発行済株式の総数 32.040.000株 株主数 5,024名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社池田ホールディングス	4,497,200	15.25
有限会社田中企画	2,330,000	7.90
田中 規幸	2,028,900	6.88
東京中小企業投資育成株式会社	1,524,000	5.17
ミマキエンジニアリング従業員持株会	1,486,500	5.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,383,300	4.69
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	1,304,800	4.42
株式会社八十二銀行	840,000	2.85
アデキパートナーズ株式会社	833,200	2.82
エプソンアヴァシス株式会社	720,000	2.44

所有者別状況



— 4,241,600株 (13.24%)

自己株式 2,545,767株(7.94%)—

10.322.201株(32.22%)

11.306.010株(35.29%)

個人その他

— 269.248株 (0.84%)

----3.355.174株(10.47%)

(ご注意) 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1

- 1. 株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口 座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社 等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできません のでご注意ください。
- 2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR 情報やプレスリリースなどの 最新の情報に加え、当社の事 業概要、製品、サービスをより 深くご理解いただくためのコ ンテンツをご覧いただけます。 ぜひアクセスしてください。



企業・IRサイト TOPページ IRライブラリ



公式SNSはこちら





BUSINESS REPORT 2020.9

2021年3月期 第46期中間報告書 2020.4.1-2020.9.30



証券コード 6638



私たちは、独自のラスター技術(パンクジェット等)とベクター 技術(カッティング等)を柱とした 市場志向の製品開発により、デジタル・オンデマンド 生産のマーケットリーダーを目指しています

経営ビジョン

- 独自技術を保有し、 自社ブランド製品を 世界に供給する 「開発型企業」を 目指します。
- 顧客に 満足いただける製品を 素早く提供する 小回りの利いた 会社を目指します。
- 市場に常に 「新しさと違い」を 提供する イノベーターを 目指します。
- 4 各人が持っている 個性・能力を 力一杯発揮できる 企業風土を 目指します。

MINGINI

ミマキが目指す組織と企業像

イノベーターの集団であり続けるために、そして各人が持っている個性、能力を力一杯発揮し、マーケットの潜在ニーズを素早く捉え解決するために、当社では技術・営業・生産・管理・経営企画の5本部体制のもと、小集団によるグループ別独立採算制を追求するGIPS経営を行っています。

GIPS (Group Independent Profitability management System)では、各グループが明確な役割と責任を持ち、それぞれがあたかも町工場であるかのように自主的に活動します。

そして各グループの活動成果としての付加価値を明確にし、各グループにおいてリーダーを中心に自部門の採算向上を実現するため、各グループのメンバー全員が問題点を共有し、その解決にあたります。これらを通し社員全員が経営に参加し、一人ひとりが採算意識を持ち、信頼をベースにした葡萄の房のような小さな果実の集合体にしていきたいと考えています。

代表取締役社長 池田 和明

トータルソリューションの提供により、 導入から成果物の品質までサポート

当社グループは、産業用インクジェットプリンタ、カッティングプロッタ、インク等の開発・製造・販売・保守サービ スを一貫して行う開発型企業です。独自のコア技術を駆使し、デジタルトランスフォーメーションのさらなる進展を 推し進め、導入から成果物の品質までをサポートするソリューションプロバイダーとしての役割を担ってまいります。



Mimakiの歩みはイノベーションの歴史

デジタル・オンデマンド生産のマーケットリーダーとして、多様なニーズを迅速かつ的確に捉え、そこに狙い を絞った製品を素早く提供することで、今後も新たな市場と顧客を創出してまいります。



3つの販売市場に向けた製品提供とFA事業の展開

各市場のプレーヤーにとって最適な製品を常に提供し、各市場の拡大を推進。

SG サイン グラフィックス Sign Graphics

大型ポスター、カーラッ ピング、のぼり旗、表示 板といった広告・看板等、 街を彩るビジネスシー ンで活躍している当社 の主力製品群。

TP









5 Mimaki Mimaki 6

新·中長期成長戦略 Mimaki V10

当社グループは、コロナ禍影響の長期化と市場ニーズや顧客志向の変化を踏まえ、売上高1,000億円を目標とした中長期ビジョン「M1000」を全面的に見直し、新たに2025年度に向け業績のV字回復を目指す新・中長期成長戦略「Mimaki V10」を定めました。

中長期ビジョン // 1000 (2017年3月期~ 2020年3月期) の総括

成果

- 1 SG市場でシェアNo.1を獲得
- 2 強力なグローバル販売・サービスネットワークの構築
- 3 販売代理店・顧客基盤の確立

課題

- 1 インク品質のさらなる向上
- 2 在庫コントロール
- 3 製品開発スピードの向上とInnovation
- 🚺 新規市場開拓を牽引する新製品の投入



Mimaki V10 基本ステートメント

ミマキならではの

前工程 プリント 後工程 の一貫システムや

製品によるソリューション提供で

産業印刷のデジタル・オンデマンド化を牽引する



Mimaki V10 経営方針

売上高成長を追求するだけでなく、高い収益を継続的に生み出すとともに、財務基盤を強化して、持続可能な成長 に向けた強靭な企業基盤を構築したうえで、2025年度に営業利益率10%を達成する

- 11 収益性を重視し、2025年度において営業利益率10%、経常利益率8%を達成する
- 2 2020~2025年度の売上高平均成長率(CAGR)は、10%を目安とする
- 3 環境変化への対応力を確保するために、キャッシュ・コンバージョン・サイクルの改善を通じて 財務基盤を強化する
- 4 製品開発で Innovation を起こし、顧客にとって価値のあるソリューションを提供し続ける
- 5 Mimaki V10 の達成に向け、ミマキグループが一丸となって取り組む組織風土を創り上げる

Mimaki V10 で目指す姿



構造改革施策 → FY2019の80%の売上高(440億円)で利益が出る組織体制作り

- ▶ 適正在庫水準達成に向け、計画休業による生産調整と在庫削減施策(廃棄・評価減、販売価格対応等)を行い、在庫の圧縮を実施
- ▶ のれん等の減損損失等を計上し、資産の圧縮を実施
- ▶ 上記2点に必要な経費約15億円をFY2020予算に計上

7 Mimaki



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、 心より御礼申し上げます。

今般の新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。ここに、第46期第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の事業の状況について、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 池田和明

当第2四半期連結累計期間の業績について

当第2四半期連結累計期間(以下、上期)の連結業績は、売上高208億62百万円(前年同期比23.8%減)、営業損失19億2百万円(前年同期は営業利益5億51百万円)と、減収減益となりました。

上期における世界経済は、第1四半期は新型コロナウイルス 感染症拡大の影響を大きく受け、過去に類を見ない景気低迷に 見舞われましたが、第2四半期に入り各国の景気回復に向けた 政策の効果もあり、国や地域により濃淡はあるものの緩やかな 回復傾向にあります。

このような環境の中、上期の市場別売上高は、全市場で減収となりました。SG市場向けは、全世界的に各種展示会・イベント等の相次ぐ中止や延期によるサイネージプリント需要低迷等の影響を受け、大幅な減収となりましたが、第2四半期においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための注意喚起サインなどの新たな需要増加もあり、回復の傾向が表れています。IP市場向けは、世界的な消費低迷の影響により、工業製品やノベルティグッズ等のプリント需要が低迷し、大幅な減収となりましたが、第2四半期は顧客の需要回復に伴い、減収幅は改善いたしました。TA市場向けは、世界的な経済活動自粛や外出規制等の影響を受け、テキスタイル・アパレル市場の需要が縮小したことから、顧客の稼働率低迷により販売が減少し、大幅な減収となりました。FA事業は、事業全般に景気低迷の影響を受けながらも、自動車関連向けを中心に受注が堅調に推移した結果、前年同期並みの売上高を確保いたしました。

上期のエリア別売上高は、全エリアで減収となりました。日本では、第1四半期での落ち込み及び第2四半期の回復は、他エリアと比べ緩やかな状況となりました。北米及び欧州では、

第1四半期は設備投資の抑制や外出規制等による深刻な景気低迷の影響を大きく受けたものの、第2四半期は主要国を中心に前年同期を上回る売上高水準にまで回復いたしました。アジア・オセアニアでは、中国はコロナ禍影響からの回復が比較的早く販売減少幅は最小限に止まり、オーストラリアも好調に推移いたしましたが、この両国以外では、回復の足取りは鈍い状況が継続しています。

利益面では、売上高の大幅な減収により減益となりました。また、将来の業績のV字回復を実現するために、当社グループの事業体質強化を目的とした在庫削減及びのれん等の減損等の構造改革施策を、計画に沿って進めてまいりました。

2021年3月期の業績見通しについて

2021年3月期の連結業績予想は、売上高465億円(前期比16.3%減)、営業損失18億50百万円に上方修正いたしました。売上高につきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、下期の世界経済見通しには依然不透明感が残るものの、緩やかな回復傾向が継続する見通しです。このような中、当社では業績のV字回復を目指す新たな中長期成長戦略を定めるとともに、下期においてSG、IP、TAの各市場向けに新規需要を開拓する新製品を順次投入してラインナップを拡充し、競争力の強化に努めてまいります。また、営業面でもオンラインの活用等による販売活動に積極的に取り組み、顧客の需要を着実に取り込んでまいります。以上の取り組みを踏まえ、下期の売上高は前年同期比で90%程度の水準まで回復する見通しであることから、上期の実績と併せ、通期売上高予想を上方修正いたしました。

利益面では、下期において、営業活動の本格化や新製品開発 工数増加等により人件費や営業関連経費が増加し、上期比で固 定費が増加する見込みです。一方で、上期で執行した構造改革 に伴う経費負担が下期にはほぼ解消することに加え、固定費構 造がスリム化した中での売上高回復の効果を見込むことから、 前回予想では赤字を見込んでいた下期の営業利益以下の各段 階利益が大幅に改善する見通しであるため、上期の実績と併せ、 通期利益予想を上方修正いたしました。

株主様へのメッセージ

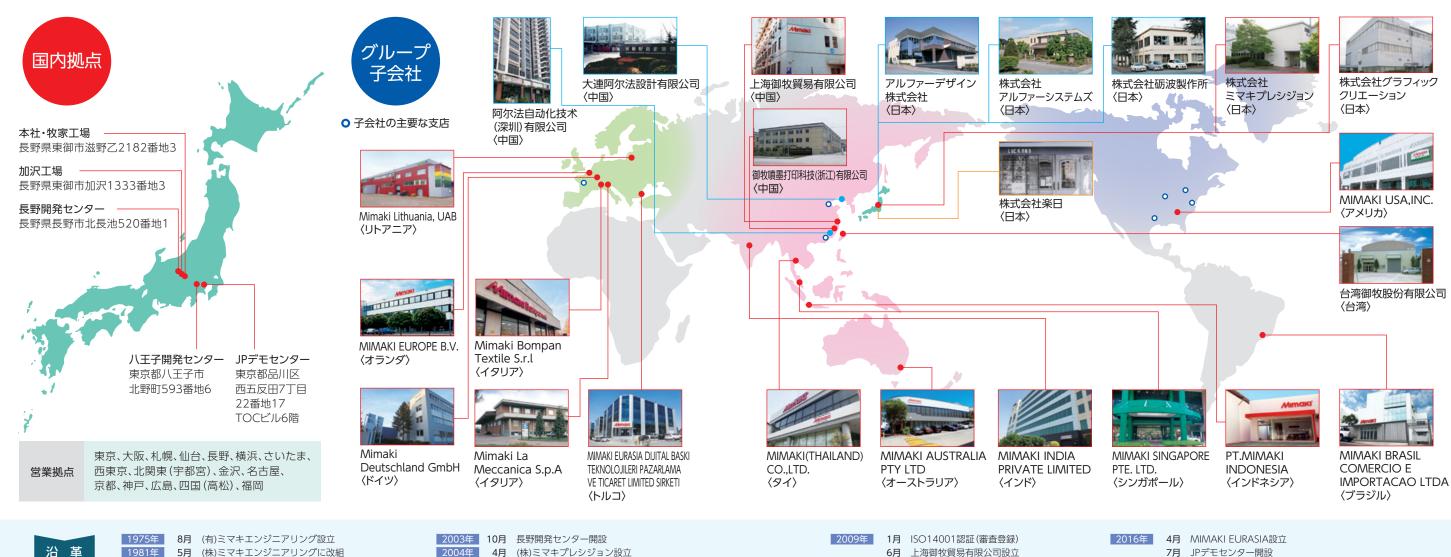
当社グループは、コロナ禍影響の長期化と市場ニーズや顧客志向の変化を踏まえ、売上高1,000億円を目標とした中長期ビジョン「M1000」を全面的に見直し、新たに2025年度に向け業績のV字回復を目指す中長期成長戦略「Mimaki V10」を定めました。具体的には、従来のように売上高成長を追求するだけでなく、高い収益を継続的に生み出すとともに、財務基盤を強化して強靭な企業基盤の構築を進め、2025年度に営業利益率10%を目指すものです。具体的な内容につきましては、本中間報告書のP7、8でご紹介していますので、ご確認ください。

なお、株主還元につきましては、足元の状況及び今後の見通しを踏まえ、2021年3月期中間配当は無配とさせていただきましたが、先行き不透明感が強い中、期末配当予想は下期の業績動向を見極めたうえで改めてご案内させていただきたく、未定といたします。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜り ますよう、よろしくお願い申し上げます。

9 Mimaki 10

☆ グローバルネットワーク・沿革





12月 OEM向けA2フラットベッドペンプロッタ RY-1003開発開始 2月 「北斎」の商標で、A2フラットペンプロッタ販売開始 3月 加沢工場操業開始 7月 台湾御牧股份有限公司設立 1月 ISO 9001認証(審査登録)

9月 MIMAKI USA設立

4月 MIMAKI EUROPE設立 9月 長野県東御市に牧家工場取得 4月 テクニカルコールセンター開設 4月 (株)グラフィッククリエーションを子会社化 8月 本社を長野県東御市滋野乙に移転 2007年 3月 ジャスダック証券取引所上場 12月 御牧噴墨打印科技(浙江)有限公司設立 2008年 7月 Mimaki Deutschlandを子会社化

6月 上海御牧貿易有限公司設立 2010年 8月 平湖御牧貿易有限公司設立 2011年 11月 MIMAKI INDONESIA設立 2013年 4月 MIMAKI AUSTRALIA設立 4月 MIMAKI SINGAPORE設立 7月 MIMAKI INDIA設立 2015年 3月 東京証券取引所市場第一部に市場変更 5月 八王子開発センター開設

7月 滋野ショールームオープン

7月 JPデモセンター開設 ー ラボセンター開設(TA·IP) 10月 Mimaki La Meccanicaを子会社化 2017年 2月 Mimaki Lithuania設立 6月 Mimaki Bompan設立 2018年 10月 アルファーデザイン(株)を子会社化 11月 (株)楽日を子会社化 2019年 3月 MIMAKI(THAILAND)設立

Mimaki 12

🗱 製品開発史



ドラフティングプロッタ

MX-11/10 サーボ方式縦型 ペンプロッタ

1988 7月

> 5月 MR-11 サーマルプロッタ

> > MC-300S

卓上カッティング

プロッタ

■9月

CF-120

カッティングプロッタ

120cm幅フラットベッド **3月**

MX-11/10P 鉛筆プロッタ

5月

1995 ■3月 4月

MX-760/790 JP-560/590 高速鉛筆プロッタ モノクロインクジェット プロッタ

■12月 ■1月 MX-340/360/390 JP-660/690C ローコスト鉛筆プロッタ フルカラー インクジェット

■1月

■1月

1月

4月

NC-5

7月

CG-6/9/12

PS対応カッティング

■11月 プロッタ MR-1600 LED方式プロッタA1版

MR-1900 LED方式プロッタAO版

1992

CG-50

■11月

12月

12月

一刀彫

12月

Vesta

1993

HF-500

ME-500

熱ペンカッティングプロッタ

MI POP

CG-100SD

高速カッティングプロッタ

1月

インクジェットプリンタ(IJP) 4月

■10月

ソフトウェアRIP

Inkjet Printer

JV2-130 6色顔料インク フルカラー IJP 10月 ■10月 JV-1300

水性顔料インク Tx-1600S フルカラー IJP テキスタイル用 Raster Link PS2対応

1999 ■11月 JV2-180 大型カラー IJP

> 2000 ■11月 Tx Link テキスタイル用 ソフトウェアRIP

■1月

■11月

■3月

6月

2003

GP-604

Tシャツ用 IJP

UJF-605C

Corel DRAW用

カッティングソフトウェア

JV3-250SP

CF-0912/1215

12月 ローエンド カッティングプロッタ

1999

POP作成システム ソフトウェア(MacOS) 1997 ■1月 **CG-100AP** カッティングプロッタ 墓石用文字切りソフトウェア 墓石設計支援システム 1m幅アパレル用 型紙カッター

1998 カッティングソフトウェア モデリングマシン ■3月 My Brain My Brain Vehicle

130EX

トンボセンサー付

カッティングプロッタ

彫刻システム カーフィルム用 8月 CG-51/61/101/121 ■5月 ローコストカッティング CG60/100/ プロッタ

■10月 **CAM LINK** 高速カッティングプロッタ 海外向けローコスト カットデータ変換・ カッティングプロッタ 出力ソフトウェア

> 大型フラットベッド Vector Link カッティングプロッタ CG-60St

■6月 CG-100/130Lx 高速カッティングプロッタ

■1月 カッティングシステム Fine Cut Illustrator用プラグイン 6月 カッティングソフトウェア

CG-130FX ■6月 高速トンボセンサー付 カッティング CFR-1220 プロッタ 12月 CG-60SL 海外向け低価格 デフクトップ フラットペッド デフタト・プラリー レシプロカッター

2001 3月 UJV-110 ロールタイプ UV硬化 IIP 6月 **Mimaki Profile** 6月 JV4-130/160/180 JV22-130/160 Master カラーマネジメント フルカラー IJP

6月

12月

JV5-130S/160S

超高速ソルベント IJP

JF-1610/1631

大型フラットベッド

UJF-605C ■

JV5-320S

ソルベント IJP

ソルベント

フラットベッドUV硬化 IJP

UV硬化 IJP

2007

■1月

大型フルカラー IJP 6月 8月 JV3-160SP Tx2-1600 ソルベント IJP テキスタイル用 IJP 10月

JV3-75SP I /130SF Raster Link Pro ソルベント IJP PS3対応 ソフトウェアRIP 10月 Tx3-1600 テキスタイル用 IJP

■9月 JV3-130S/160S 3月 ソルベント GP-604D 抜染液対応 IJP 4月

UJF-605R ロールタイプ UV硬化 IJP DM2-1810 JV3-250SPF

グランドフォーマット 大型フラットベッド IJP ソルベント IJP 8月 Raster Link Pro I PS3対応ソフトウェア RIP 8月 超ワイド ソルベント IJP JV33-130/160

GP-1810D ■11月

JV3-130SL

高速トンボセンサー付

CG-75ML+JV3-75SP

プリンタ&カッティング

カッティングプロッタ

4月

10月

■12月

Fine Cut for Corel CG-160FX

■8月 DS-1600/1800 UJF-605R II ダイレクト昇華プリンタ ロールタイプ UV硬化 IJP 12月

9月 Raster Link Pro III /IP III /TA III PS3対応 ソフトウェアRIP

10月 CG-60SR デスクトップ型 カッティングプロッタ ■11月

Raster Link ■2月 Pro5 SG/IP/TA UJF-3042HG IPF-1610B/ 1610B-U PS3対応ソフトウェアRIP LED-UV方式 産業用フラットベッド 5月 UV硬化 IJP JFX-1631 LED-UV方式 Mimaki Profile 大型フラットベッド UP 160LX

4月

Master II カラーマネジメントシステム **Tx400-1800D** テキスタイル用 IJP ---8月 CJV30-60/ 12月 100/130/160 UJF-706 フラットベッド UV硬化 IJP 4月 プリンタカッター

■8月 Raster Link Pro4 ■1月 SG/IP/TA PS3対応 ソフトウェアRIP JV5-320DS

JV33-260

TPC-1000

プリンタカッター

TS3-1600

TS5-1600AMF

昇華転写 IJP

昇華転写 IJP

ダイレクト昇華/昇華転写 IJP 5月 UJV-160 2月 LED-UV方式 ハイブリッド IJP UJF-3042

LED-UV方式 Tx400-1800B 超ワイドソルベント IJP ベルト搬送方式テキスタイル IJP

JFX-1631plus 320S4 LED-UV方式 大型フラットベッド IJP 新興国市場向け スポーツアパレル向け ■11月

JFX-1615plus LED-UV方式 大型フラットベッド IJP

3月 JV34-260

UJF-3042FX ■9月 LED-UV方式 フラットベッド IJP TS34-1800A 大型フラットベッド 昇華転写

10月 FineCut8 ソフトウェア

12月 UJF-6042 LED-UV方式 フラットベッド IJP フラットベッド IJP 2013

■3月 4月 JV400-130/ UJV500-160 LED-UV方式 IJP 水性ラテックス IJP

世界最速

昇華転写 IJP

JV400-130/

ソルベントUV IJP

160SUV

Tx500-1800B ベルト搬送方式 テキスタイル IJP TS500-1800

■10月

JFX200-2513 LED-UV方式 大型フラットベッドIJP

6月 JV300-130/160 ソルベント IJP

SWJ-320S2/ グランドフォーマット ソルベント IJP

■10月 5月 プリンタカッター RasterLink6

IJPソフトウェア 6月 Tx500-1800DS ダイレクト昇華 IJP

JFX500-2131 LED-UV方式

10月 CJV150-75/ 107/130/160 プリンタカッター

2月 UJV55-320 Mimaki Target LED-UV方式 IJP Color Emulator カラーマネジメントシステム 4月 SIJ-320UV 5月 LED-UV方式 IJP MM700-1800B

4月

ダイレクト捺染 IJP

Mimaki Profile

Tiger-1800B

ダイレクト捺染 IJP

UJF-3042MkⅡ

UJF-6042MkⅡ

LED-UV方式 IJP

LED-UV方式 IJP

カラーマネジメントシステム

7月

9月

10月

11月

フラットベッドIJP

Master3

6月 TxLink3 IJPソフトウェア

7月 TS300P-1800 昇華転写 IJP

UJF-7151 plus ■10月 LED-UV方式 フラットベッド IJP

Tx300P-1800

JV150-130/160 ダイレクト捺染 IJP ソルベント IJP

CJV300-130/160 _{2月}

TS500P-3200 JFX200-2531 昇華転写 IJP

3月 TS30-1300 昇華転写 LIP

Tx300P-1800B ダイレクト捺染IJP

2017 11月 UCJV300-160 UCJV150-160

UV硬化インク搭載 Newテクノロジープリンタ LED-UV方式 IJP



3DUJ-553 世界初1,000万色以上の フルカラー造形 LED-UV方式 3Dプリンタ



■12月 JV300-190 ソルベント IJP



UV硬化インク搭載

ベルト搬送方式IJP

昇華転写モデル

■7月

プリント&カット対応IJP

CJV300-130/160Plus プリント&カット対応 IJP

2019

TS55-1800

水性昇華転写用 IJP

JFX200-2513EX

JV300-130/160Plus

エコソルベントインク搭載

大型フラットベッド

LED-UV方式 IJP

3月

5月

9月

大判 IJP ===

9月

Tx300P-1800Mk II ハイブリッド式テキスタイルし

2020

UCJV300-75/107/130 _{■3月} UJV100-160 ロールタイプUV硬化 IJP



4月 Tiger-1800B Mk II 3DGD-1800 GDP方式 大型3Dプリンタ ダイレクト捺染モデル/



9月 高精度·高機能

CG-75/130/160 FX II Plus カッティングプロッタ

3月 Simple Cut カッティングアプリケーション 大型カッティングプロッタ ソフトウェア

カッティングプロッタ

■1月 CF3-1631/1610 ルータ対応 大型フラットベッド カッティングプロッタ

CG-75/130/ 160FX II 高精度·高機能 マルチカッティング プロッタ

Simple Studio プリント&カットデータ作成用 アプリケーションソフトウェア

5月 プラグインカッティング 高性能カッティングプロッタ 高性能カッティング 小型フラットベッド 8月 **APC-130**

4月

プロッタ カッティング

2月

ArtiosCAD DS CADソフトウェア

2017 CF22-1225 フラットベッド カッティング プロッタ

プロッタ

CG-60/90

カッティングプロッタ

アパレル用型紙カッター

海外向け縦型

CG-90AP

🌣 ミマキニュースフラッシュ

SG

操作性能・画質・速度・コストバランスに優れた 「100series」2機種を全世界で発売

[100series (JV100-160/UJV100-160)] は、サイン グラフィックス市場をリードしてきたミマキが、長年蓄積 してきた[高画質][高信頼性][高生産性]の技術をベース に、新たに「高い操作性」をお客様にご提供する製品です。 プリンタの操作に習熟していない方でも簡単にお使いい

ただける、機 能・コストバ ランスに優れ たエントリー モデルです。



2020年3月発売(地域限定) 2020年12月発売予定(全世界)

2020年12月発売予定

FA

当社子会社アルファーデザインより 「DCF-605PUIを発売

従来、プリント基板への防湿剤コーティングは刷毛塗り やスプレー塗布といった手作業に頼っており、塗布 膜厚のバラつきによる再塗布といった課題を 抱えていました。当社独自の精密な位置決 め機能により高精度なコーティングが 実現でき、これまでの手作業工程 を自動化、標準搭載のアプリ ケーションソフトにより多品 種少量生産にも対応します。

DCF-605PU

2020年10月発売

TA

皮革・合皮の質感を活かすソルベントUVプリンタ 「SUJV-160」を発売

本製品は、ワイドフォーマットソルベントUVインク ジェットプリンタ[SUJV-160]と富士フイルム株式会社 が開発したソルベントUVインク[SU200]で構成され、 「SU200」インクは、高い柔軟性と耐久性を備え、従来技術

では難しかった皮 革・合皮の基材その ものの質感を活か した印刷を可能に しました。



3D \

小型フルカラー3Dプリンタのエントリーモデル 「3DUJ-2207」を発売予定

「3DUJ-2207」はUV硬化インクジェット方式の1,000 万色以上のフルカラー造形を実現する3Dプリンタで、一般

的な石膏方式に比べて約2倍の 高精細な色表現を実現します。 本製品は従来製品と比較し小型 設計で、本体を分解することな く搬入できるうえ、静音設計で 脱臭機を備えているためオフィ ス環境への設置に最適です。

3DUJ-2207

2021年1月発売予定



MIMAKI×SDGs

当社は、2015年に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)で定めた 17の目標のうち、インクジェット技術で7つの項目に貢献してまいります















当社グループは、サスティナビリティ対応の一環として、 資源循環型の経営・技術に鋭意取り組んでいます

これまでも独自のインクジェット技術で、社会・環境ニーズに貢献するデジタル・オンデマンドプリント事業の拡大を推進し てまいりました。今後も、デジタルトランスフォーメーション(バリューチェーンを含めた新たな付加価値につながるデジタル 化)を的確に捕捉し、さらに深化すると思われる無人化・省人化、高速化・高品質化、無水捺染等の高度な付加価値につながる 社会・環境ニーズにいち早く対応できるよう取り組んでまいります。

▶ デジタル・オンデマンドプリントの推進で、持続可能な社会の実現へ

当社は、独自のラスター技術とベクター技術を駆使して、デジタル・オンデマンドプリントのさらなる進展を推し進めてま いります。





節水

染色による淡水汚染をインクジェットプリン トで解消、昇華転写プリントで節水を可能に



物流フローの削減

デジタル・オンデマンドプリントで物流フ ローを短縮





在庫ロスの減少

インクジェットプリントでロスを最小限に



生産設備の効率化

インクジェットプリントで環境に配慮した設 備作りを可能に





環境に優しいインクの開発・製造

環境に優しく、オペレーターの健康負荷の 軽減にも配慮したエコロジーインクを開発





環境へ配慮したインクカートリッジ

使用済みインクカートリッジ類の無償回 収・再利用、エコインクカートリッジの採用

15 **Mimak**

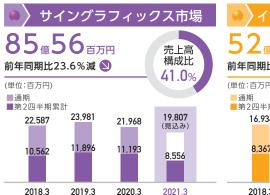
🌣 業績のポイント

連結業績ハイライト



市場別状況

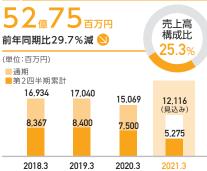
連結業績予想



(前期比16.3%減↓)

売上高は85億56百万円(前年同期比23.6%減)とな 意喚起サインなどの新たな需要増加もあり、第2四半 ました。 期においては、回復の傾向が表れてまいりました。

インダストリアルプロダクツ市場



売上高は52億75百万円(同29.7%減)となり りました。コロナ禍により全世界的に各種展示会・イベ ました。世界的な消費低迷の影響により、工業 ント等の相次ぐ中止や延期によるサイネージプリント製品やノベルティグッズ等のプリント需要が 低迷し、大幅な減収となりましたが、第2四半期 方で、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための注 は顧客の需要回復に伴い、減収幅は改善いたし 体・インクとも販売が減少し、大幅な減収となり

テキスタイル・アパレル市場

未定



売上高は16億31百万円(同42.9%減)となり ました。世界的な経済活動自粛や外出規制等の影 響を受け、テキスタイル・アパレル市場の需要が ました。なお、第2四半期は世界的な経済活動回 復の動きを受け、徐々に改善の方向にあります。

エリア別状況

日 本

売 ト高 **70**億**50**百万円 前年同期比20.0%減 **3**

新型コロナウイルス感染症拡 大に伴う緊急事態宣言等の影響 による景気悪化を受け、第1四 半期では売上高の落ち込みがあ りましたが、第2四半期は緩や かな回復傾向となりました。



欧 州

売 ト高 52億46百万円 前年同期比24.8%減 ▶

第1四半期における厳しい外 出規制等による深刻な景気低迷 の影響を大きく受けましたが、 第2四半期は国により濃淡はあ るものの、主要国を中心に前年 同期を上回る売上高水準にまで 回復しました。



アジア・オセアニア、その他

売 L高 49億52百万円 前年同期比33.1%減 ▶

中国はコロナ禍影響からの回 復が比較的早く販売減少幅は最 小限に止まり、オーストラリア も好調に推移しましたが、この 両国以外では回復の足取りは鈍 い状況が継続しています。



売上高 36億14_{百万円} 前年同期比13.5%減 ≥

第1四半期は設備投資の抑制 等により本体を中心に販売が大 幅に減少しましたが、第2四半 期は前年同期並みの売上高水準 にまで回復しました。



2021年3月期第2四半期累計実績

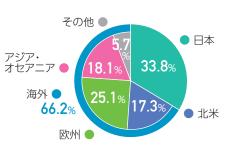
約150ヶ国の お客様に 製品・サービスをご提供

連結海外売上高 138億12百万円

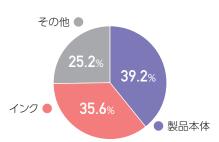
連結売上高に占める割合

66.2%

エリア別売上高構成比



品目別売上高構成比



17 **///іт**акі **Мітакі** 18